

阿南市総合戦略を策定

問い合わせは 企画政策課 (☎22-3429) へ

阿南市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少対策と阿南市に住んでよかったと実感できるまちづくりを実現するため、「阿南市人口ビジョン」と「あなん(地域好循環)総合戦略」を策定しました。策定にあたっては、阿南市総合計画審議会での3回の審議を重ね、各分野の「現場」の声を反映させるなど、市の実情に沿った内容となっております。その概略をお伝えします。



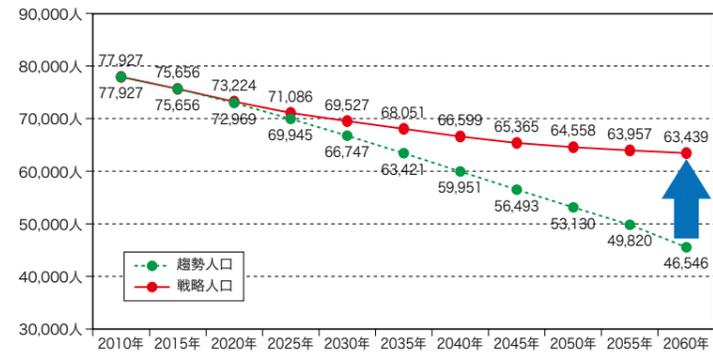
阿南市総合計画審議会の様子

2060年阿南市人口6万3千人超をめざす

阿南市人口ビジョンは、人口の現状や推計を分析することと、市の人口動向の特性と課題を把握し、目標とする将来人口と、将来人口に基づく将来の展望を提示するものです(対象期間は、2015年から2060年まで)。市の人口は1980年をピークに減少に転じ、2010年には約7万8千人となっております。2014年の合計特殊出生率は「1.34」であり、全国、徳島県の値を上回っていますが、人口構造の高齢化に伴う死者数の増加によって、近年は約300人前後の自然減の状況が続いています。この間、年少人口(0

14歳)比率は22.5%から13.5%に減少したのに対し、高齢化率は11.6%から26.8%に増加しており、本市においても少子高齢化が進行し

【阿南市人口ビジョンの戦略人口】



「阿南市人口ビジョン」では、こうした人口動向が続いたとすると、2040年に本市の人口は6万人を割り込み、さらに2060年には4万6500人程度までに減少する見通しであることを示しています。(趨勢人口)

都市における人口規模の大幅な縮小は、地域の消費活動を減退させるだけでなく、労働に従事する人口の減少をもたらします。その結果、地域経済の規模が縮小し、日常生活におけるさまざまなサービス・利便性が低下していくとともに、こうした都市機能・生活機能の低下により、さらに人口の転出を促すという悪循環に陥ることが危惧されます。

人口の問題は規模の問題だけではなく年齢構造の問題でもあります。このまま少子高齢化の傾向が続いた場合、高齢介護をはじめとするサービス需要が増加し、さらに長期的に安定的な人口規模を維持することも困難となります。

そのために、少子高齢化を抑制し、人口構造を健全化する必要があります。こうした人口問題に対して、

今後5年間の取組の方向性や施策

「阿南市総合戦略」は、この戦略人口の達成を図ることを長期的視野に、今後5年間の取組の方向性や施策等について明らかにするものです。先に示したように、本市の趨勢人口は2060年には4万6500人規模にまで減少することが想定されます。そこで、今後、戦略的な取組を講じることにより、6万3千人超で減少をくい止めることが可能と考えます。

この2060年までの長期的なビジョンに対して、2019年度までの戦略的な取組を示す「阿南市総合戦略」では、「人口減少の抑制」、「人口減少への準備」のために、次のページに掲載した基本方針と5つの基本目標を柱として、取組を推進していきます。

【基本方針】

「豊かな自然と調和した産業都市」として「持続可能な発展」を進めます

基本方針に沿ったまちづくりを進めるため、市内各産業における次世代の担い手、さらには未来の世代につながる人材の確保を図ります。「ひと」が「しごと」を呼び込み、「しごと」が「ひと」を呼び込む好循環により、2060年においても「住みたい、住みやすい、住んでよかった」と思っていたいただけるまちの実現をめざします。

高規格道路と国道55号那賀川大橋4車線化の早期実現

基本目標5 未来の阿南市を見据え、地域創生を迫及する
数値目標 地方創生を迫及する新たなチャレンジを5年間で10事業
基本的方向
 ●調査研究機関の設置等により、既定の枠組にとられない阿南市ならではの戦略づくりとチャレンジを推進します。

基本目標1 地域における安定した雇用を創出する
数値目標 雇用創出数を5年間で1,000人
基本的方向
 ●企業誘致や創業・起業支援によって、新産業の創出を支援します。
 ●新規就業・後継者育成の支援や農作物等のブランド化の推進により、地域産業の振興を図ります。

基本目標2 地方への新しいひとの流れをつくる
数値目標 2020年までに転出超過40%削減、2025年までに転出超過から転入超過へシフト(2010年～2014年平均126人減少)
基本的方向
 ●UIターン希望者への就業支援や情報発信等により、移住・定住の促進を図ります。
 ●「光のまち阿南」「野球のまち阿南」の取組推進や、若者や外国人観光客をターゲットとした観光・集客拠点の整備により、交流人口の拡大を図ります。
 ●大学や広域連携によるつながりの創出により、阿南市へのひとの流れを創出します。

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
数値目標 理想とする幸福度に対する満足度を95%超(2015年度調査結果は93%)
基本的方向
 ●新しい地域活動への取組支援や地域おこし協力隊の導入等により、地域コミュニティの活性化を図ります。
 ●地域医療体制の確立により、住民誰もが健康で安心して生活できる環境づくりに取り組めます。
 ●既存施設の維持・管理や定住自立圏の拡充等、人口減少社会に対応した新たなまちづくりを推進します。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
数値目標 結婚や出産に関する希望がかなう場合の出生率(希望出生率)を、2020年に「1.68」、2025年に「1.8」
基本的方向
 ●出会い・結婚・出産・子育ての切れ目ない支援と環境整備により、阿南市で子どもを産み育てたい方を応援します。
 ●定住に必要な「雇用」と「住まい」の支援により、若者の定住促進を図ります。

